

## 「第62回十大新製品賞(本賞)」を受賞

当社の“オープン統合ネットワークCC-Link IE TSN(Time Sensitive Network)対応製品 及びACサーボシステム MELSERVO-J5”が、日刊工業新聞社主催の「第62回十大新製品賞(本賞)」を受賞した。2019年に開発又は実用化された新製品の中から、モノづくりの発展や日本の国際競争力の強化に役立つ製品として選定された。



## 「令和2年度春の黄綬褒章」を受章

令和2年度春の褒章で、「黄綬褒章」を当社生産技術センターの荒川勝博が受章した。基板穴あけ用レーザ加工機に不可欠な光学機械の組立てに係る卓越した技能と長年にわたる業務精励、後進育成の功績が高く評価された。

加工機の主要部品であるレンズの開発・試作の中で組立て技能の研鑽(けんさん)に励み、多くの考案と改善によってレンズの性能や品質の向上に貢献した。これによって、加工機の高精度化と生産性の向上が図られ、スマートフォ

ンに代表されるデジタル機器の小型化・高機能化に寄与している。



## 「Industry Leader Award」を受賞

IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)／GRSS(Geoscience and Remote Sensing Society)が毎年各分野で業績を残した研究者・技術者に付与するアワードのうち、メジャーアワードの一つである「Industry Leader Award」を当社鎌倉製作所の岡田 祐が受賞した。“ALOS-2衛星搭載PALSAR-2センサのシステム設計・ハードウェア設計に対する貢献”を評価されたものである。IEEE／GRSSのメジャーアワードの受賞は、過去30年で日本人5人目、日本のメーカーでは初受賞になる。

この受賞は、当社開発のSAR(Synthetic Aperture Radar)の世界最先端の技術が国際的に認められた結果であり、今後はSAR／レーダ技術の宇宙事業以外での事業展

開も視野に入れつつ、レーダ衛星については国内シェア100%を継続し、技術／価格的優位性を確保していく。



## 「第65回滋澤賞」を受賞

「第65回滋澤賞」を当社先端技術総合研究所の武藤浩隆が“長年にわたる電気保安への功労”分野で受賞した。電気機器の安全・高信頼な稼働に最重要である“電気絶縁技術”的開発と学術研究への貢献が評価された。発電機／変圧器／開閉器などの電力設備、産業機器／電気鉄道／電気自動車など各分野のモータとそれらを駆動するパワーエレクトロニクス機器など、多岐にわたる機器向けに開発した電気絶縁設計と評価技術は、機器の小型化、高電圧化、及び高信頼化を実現し、長期の安定した稼働を支えている。また、国内外の大学と連携して基礎現象の解明にも継続的に取り組

み、その成果は24編の学術誌論文、42編の会議論文として公表され、日本の学術発展への貢献も評価された。













